

# 来年度に向けてのクラス調整

2学期が始まったばかりなのに来年度のクラス調整?? そうですね。早すぎるようですが、在籍されている生徒さんの希望とレベルにあったクラスを提供させていただくために、新クラスの開講やクラス編成のための準備をしていく時期となりました。特に幼稚園クラスは人数も多いので、早めに来年度の予定を組んでいく必要があると思っています。

保護者の方のご意見や希望などを少しずつ聞いていきたいと思っていますが、スーパードラー(3~6歳 定員12名)からスーパーキッズ(幼稚園・小学1年生対象)、またはキッズクラス(小学生対象)へ移行をお考えの方はクラス数に限りがございますので、お早めに計画していただければ助かります。11月末頃から来年度クラス希望用紙をお渡しいたします。

また、スーパードラーとスーパーキッズの違いについてよく質問されますので、興味のある方は下記の図を参考にして下さい。特に夏休みも明けて落ち着いてきたこの時期、スーパードラー2年目受講の生徒さんの中には、授業内容が物足りなく感じる頃でもあります。来年度レベルアップをお考えの方がいましたらお早目にご相談・ご検討下さい。

クラス名	授業内容
スーパードラー ★定員12人★ (幼稚園児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園年少~年長</li> <li>●単語と簡単なフレーズを覚える</li> <li>●ゲームやダンスなど体を動かしながら英語に親しむ</li> <li>●英語を楽しむのが目的</li> <li>●簡単なフォニックスの練習</li> </ul>
スーパーキッズ ★定員8名★ (幼稚園年長・小学1年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園年長~小学1年生</li> <li>●英語の基礎を積み立てる</li> <li>●単語と簡単なフレーズを覚える</li> <li>●読み・書きの練習</li> <li>●簡単なフレーズが自然に出るよう練習</li> <li>●フォニックスの基礎作り</li> <li>●3文字程度の簡単な単語が読む練習</li> </ul>
キッズクラス (小学生) ★定員8名★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラスはレベル・年齢を考慮します。</li> <li>●中学レベルの文法が導入されます。</li> <li>●「聞く・読む・話す・書く」の4技能を養っていきます。</li> <li>●ゲームやスキットなどを通し、英語を楽しく学習します。</li> <li>●フォニックスや書き取りの学習など。</li> <li>●多読へのチャレンジもお勧め</li> </ul>

クラス調整の流れは、まずアンケートをとり、来年4月からの皆様の意向を確認した後、2020年度の時間割を作成します。新時間割をお渡しした後(1月末頃)、ご希望クラスへの予約をしていただきます。通常既存の少人数(8人制)の子供クラスは特に希望がない限り、そのままレベルアップいたします。ただし、曜日が変更する場合や受講者が定員に満たない場合クラスを融合する場合もあります。

# 最新情報・お知らせ

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●《重要》警報が出た場合も基本的に授業はありますが、くれぐれもご無理のない判断をお願い致します。来校が難しい場合は補講システムをご利用下さい。また、状況によってはすべてのクラスが休講になる場合もありますので、ホームページやフェイスブックでクラスの有無をご確認下さい。

●消費税変更に伴う月会費の変更の詳細は、アークアカデミー通信9月号でお確かめください。

●10月29日(火)~11月3日(土)は調整日のため、すべてのクラスがお休みです。

●10月22日(火・祝)は通常通り授業がございます。お間違いないようお願い致します。

●英検受験日は10月6日(日)です。受験集合時間は:午前9時20分(4級)、午後1時20分(3級・5級)です。試験会場はあかしあ台校になります。当日は名前・住所の他に、郵便番号、生年月日等が必要です。「英検準会場申込み確認票」もお持ちください。

●英検 Jr の受験日は10月27日(日)です。試験会場は南ウッディタウン駅前校になります。試験開始5分前にはご入室下さい。

●《10月~11月の振替日》11月以降は振替ページをご参照下さい。  
<https://airsv.net/arkacademy/calendar>

スーパーキッズ	10月12日(土)11月9日(土)
キッズ①&①+	10月19日(土)11月16日(土)
キッズ②&②+	10月15日(火)11月12日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	10月22日(火)11月19日(火)
バイリンガル/中学生	10月5日(土)11月9日(土)

## ARK ACADEMY

アークアカデミー英会話教室



三田市あかしあ台4-8-1

Tel /Fax : 079-563-3132

Email: info.ark.academy@gmail.com

ホームページ「アークアカデミー英会話教室」で検索

フェイスブック: [www.facebook.com/ark.academy.sanda](http://www.facebook.com/ark.academy.sanda)

# アークアカデミー通信

News Letter Oct 2019

Vol.109



## ★Contents★

- はじめに ■最新情報・お知らせ
- 今月の誕生日 ■来年度に向けてのクラス調整
- 魔法の英語学習「B.B.メソッド」
- 英語の絵本100冊読破! ■コスチュームウィーク



### はじめに

「暇」が創造性を育てる、というのは私の勝手な持論ですが、もう少し子供達、特に中学生や高校生に、生活を楽しむ時間の余裕があってもいいのかなと思います。

「暇」が創造性を育てるという持論は、私のインドでの体験から生まれたものです。インドの山奥に滞在中、蚊に刺された小さな傷口からばい菌が入り、左足の踝が風船のように化膿して膨れ上がりました。1日でも手術が遅れると足を切断しなければならぬと脅され、意識朦朧のままスラムにある小さな病院に運ばれ意識のないまま手術。当時インドではよくある事だったそうですが、どうも私は監禁状態にされたようで(涙)、外部とは連絡が取れず、けして清潔とはいえない病院で寝たきり状態となりました。何もできないので、とにかく暇! 初めの数日は痛みの為動けず、壁にはいつくぼっている「いもり」ちゃんが心の友になりました。上半身が少し動かせようになると、何かをしたいという衝動に囚われてきました。英語も通じないし、本やテレビはもちろんないので、唯一持っていた汽車の時刻表を取り出し、それを暗記し始め、マハラジャエクスプレスに乗れば8時にデリーにつく~なんて、インド中を巡る旅の計画を立てました。座る事が出来始めると、今度は詩を書くようになりました。ノートとペンを持っていた事がこれほどうれしく思った事はありません。病院のスタッフは英語が喋れなかったのですが、絵ならコミュニケーションがとれるかとも思いイラストも描き始めました。これが病院中の人気となり、「会話」が生まれるようになりました。

「退屈」する事によって、創造力をかきたたられ、不満な状況を改善しようと「脳」が自己防衛する事を実感した経験でした。そんな経験を思い出しながら、スマホやゲーム、テレビやコンピューター等、手軽に「暇」を回避するデバイスが、ひょっとして「創造」する時間を奪ってしまっているのではと反省しつつ、「暇」な時間を積極的に作り出していきたいと改めて思う日々です。

# 恒例：10月のFUN イベント 秋のコスチューム（仮装）ウィーク！

お盆明けから早速ハロウィーンの飾りがあちらこちらで見られるようになりました。日本でもいつの間にか大きなイベントになりましたね。

「Trick or Treat」という言葉を聞いたことがあるかもしれませんが、これは「お菓子をくれないと魔法をかけちゃうよ」という意味です。北米では子供達が好きな衣装をつけて近所の家を回りキャンディーなどをもらいに行きます。どこの家でも行っていいわけではなく、かぼちゃのおぼけ（Jack-o-lantern）が家の外に飾ってある家が、子供達にお菓子を用意していますよ、というしるし。特にアメリカでは勝手に他人の私有地に入ると、とんでもない事態になりかねないので気をつけましょう。ただ最近では物騒な事件が多いため、近所の家を回るのはなく、ショッピングセンターやモールで開催される「Trick or Treat」のイベントに参加するのが主流になってきたとか・・・

ちなみにラテンアメリカでは、11月1日が諸聖人の日で、続く11月2日が死者の日となり、お墓はちよつとしたお祭り騒ぎとなります。映画「リメンバー・ミー」を観た方はピンとくるかもしれませんが、日本のお盆に少し似ているような気がします。

さて、アークアカデミーでは今年も恒例のコスチュームウィークを開催します。楽しいコスチュームをつけてご来校下さいただし 怖くて気持ち悪い衣装はご遠慮ください！

★開催日★：

**10月22日（火）～10月26日（土）**

※衣装をつけて（希望者のみ）通常クラスに参加して下さい。

※スーパードラークラスは「Trick or Treat」をする予定ですので、保護者の方もぜひ一緒に参加して下さい。

## ARK FAMILY FOCUS 英語の絵本 100 冊読破

「今年の夏は 1000 本ノック」を夏休みに企画しました。これは英語の本を 50 冊～100 冊を多読・多聴するとい内容のものです。この企画に数名の生徒さんがチャレンジ！本当に頑張ってコツコツ毎日英語の本を読んでくれました。

小学4年生のR君も多読にチャレンジ。発音もヒアリング力も抜群なのですが、読む事が苦手ということで、多読にチャレンジしてくれました。毎日コツコツと2冊～3冊の本を読んでくれ、夏休みが終わる前に100冊を突破！！R君のお母さまもびっくりされていたのですが、読む事への苦手意識がすっかり解消され、英語の理解力がぐっと伸びました。より自信を持って授業に参加してくれているR君を見て、「継続は力なり」という言葉を実感しています。みなさん、本当に頑張りましたね！！



おめでとうございます！

## 10月のスクールカレンダー

※黒色で塗りつぶされた箇所はスクールの休校日です。

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	(1)	(2)	(3)

## 勉強嫌いの子供がときめく 魔法の英語学習 B.B. メソッド

「使える英語が身に付く」、英会話教室にはおなじみのキャッチフレーズですが、そもそも使える英語ってどういう事なのでしょう？

知識（文法・単語量）が多くても、英語が使えない人は珍しくありません。例えば、スピーキング。会話をしている時に、話を振られて頭の中でいちいち文法を考えて、文章を組み立てて・・・なんて時間をかけていたら会話なんてスムーズにいきせん＝「使えるレベルではない」という事。

東進ハイスクールの安河内先生は；

「言語の運用能力というのは、理屈を理解できているかどうかではなく、どれだけ自動化されて反射神経に変わっているかがポイントになります。この反射神経は「長期記憶」にないと発動できない」とおっしゃられていますが、反射的に英語が出てこない「英語ができる」とは言えないのです。

記憶には「長期記憶」と「短期記憶」があるそうです。短期記憶は必要な時に必要な物を見短い間保持する事で、テスト前の一夜漬けはまさにこの「短期記憶」が活躍する場ではないでしょうか？ その逆に「長期記憶」は、文字通り長く保たれる記憶の事で、何度も繰り返す事で長期記憶に情報が蓄えられていきます。悲しい事に（素晴らしい能力でもありますが）人間の脳は忘れるようにできてきます。なので、「覚える」→「忘れる」→「思い出す」→「覚える」という復習のサイクルをする事で、記憶の定着率を高めていくのです。そして「使える英語」というのは、英語という情報・データ（短文やフレーズ、パラグラフ）が「長期記憶」にないと発動できないのです。つまり潜在意識の中にまで組み込まないと、英語を自動的に使いこなす事はできません。母語で会話する時も、実は相手の言葉に潜在意識で反応する事が多いそうです。母語である日本語で話す時、相手の言っている事の意味が瞬時に分かるのは、潜在意識に日本語の語感が刷り込まれていて、頭で考えるより早くスムーズに反応しているからです。慣れない英語で会話をしようとする時、相手の言っている事は分かって、どう答えていいかわからず、話に詰まってしまう事がありますが、それは、まだ語感が身につけていない、頭で考え、頭で意識で外国語をたぐっているからなのです。

英語学習も「繰り返しの反復学習」という地味な積み重ねがあるからこそ、その先に「使える英語」があるわけです。でも子供の場合は単調な繰り返しだと飽きてすぐ嫌になります。なので、ゲームやアクティビティを通して英語の反復を促す訳ですが、週に1回の授業では、この長期記憶にまで情報を落とし込む事が難しいです。子供はすぐ覚えるけれど、すぐ忘れる。「勉強」だとおもしろくないので、集中できない。繰り返さないで身に付かない・・・どうすれば子供達が英語を身に着ける事ができるか、試行錯誤の毎日でもあります。そんな経緯もあり、子供達が楽しくゲームをしながら、無意識のうちに意味のある英語を「繰り返しの反復練習」ができ、中学3年生までに習う基本的な構文が「潜在意識」として子供達の記憶に貯蓄していく「B・Bメソッド」を知った時、これだ！と思いました。

従来の英語教授法はボトム・アップ式で、母語とはまったく異なる英語という言葉の要素、つまり、音声・語彙・文の構造などを知識として教えられ、覚えていかねばなりません。しかし、このB・Bメソッドは、子供が生まれながらに持っている比較・判断力・類推力・想像力などを駆使し、言語を知識ではなく、「ことば」として習得していきます。そんな魔法のようなB・Bメソッドは、B・Bカードをという教材を使ったカードゲームで、その特徴はカードに書かれた文と絵の内容になります。

B・Bメソッドの詳細はまた後日紹介させていただきたいと思っています！